みさき 63号

美咲町議会だより

2021年2月10日発行

議会HPへアクセスします

主な内容

こんなことが決まりました ②～③
9議員が町政を問う ⑧～⑯
大阪府岬町との調印式 ⑰
美咲町議会4年間の軌跡 ⑱～⑲

大きく育て美咲の子ども　ほっこりほっこりあたたかく

美咲町HPアドレス　http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm

表紙関連記事16ページ

2億5,000万円の増額

一般会計補正予算など9件の議案が議決されました。

ふるさと納税事業費の増額

ふるさと納税の増額が見込めるため必要経費を追加する。本年度のふるさと納税の総額は6,800万円を見込む。

〔ふるさと納税特産品贈呈事業　900万円〕

自力災害復旧事業費の増額

自力災害復旧事業は人件費を除くリース料や燃料代として上限32万円の補助事業。申請者が多かったため予算を追加する。

〔自力災害復旧事業　96万円〕

請願・要望

【請願1号】

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願

新日本婦人の会津山支部
支部長　山本　宣子
紹介議員　山田　雄二
藤井　智江

20人学級が望ましいとの考えも理解できるが、実現の可能性が低いとの理由から賛成少数で**不採択**とした。

【要望3号】

大型造成工事の分割発注、大型建築工事の分離・分割発注について

美咲町建設業協会
会長　下山　歩

今後町内で大型プロジェクトの予定もあり、分離・分割事業を請け負う体制づくりも必要であり全会一致で**趣旨採択**とした。

【要望4号】

商工業振興事業補助金（小規模事業者経営改善普及事業及び地域総合振興事業）の予算措置についての要望書

久米郡商工会
会長　大﨑　敏男

小規模事業者支援は重要であり全会一致で**採択**とした。

請願・要望

【要望第5号】

林業の振興と経営の安定に関する要望書

江与味林業研究グループ
会長　神田　益穂

趣旨は理解できるが全体の組合員数に対して要望件数が少ないことから、全会一致で**趣旨採択**とした。

【要望第6号】

旭地域の小・中学校存続についての要望書

美咲町立旭中学校ＰＴＡ
会長　赤木　健一

旭小学校を旭中学校に統合し施設一体型の義務教育学校を設置し、旭地域に学校の存続を求める要望であり、賛成多数で**採択**とした。

議員発議

美咲町議会基本条例の一部改正

第1条中「世界に羽ばたく元気なまちづくり」を「ひと　輝くまち　みさき」に改める

第4条中意見交換会の開催を「原則年1回」に改める

契約

財産の取得

契約について提案があり、審議の結果全会一致で承認した。

庁内無線ＬＡＮ環境の機器更新
（株）オービス（岡山市北区）
1，195万7，000円（税込）

12月議会でこんなことが決まりました

稗田川の河川改修

令和2年11月30日～12月11日まで定例議会が招集され

稗田川改修と排水ポンプの設置

稗田川（周佐地内）の川幅を拡幅し、水の流れをよくすることで氾濫を防止し、吉井川の水位上昇による内水対策として排水ポンプを設置する。
〔自然災害防止事業　2億5,000万円〕

柵原共同調理場真空冷却機の更新

真空冷却機の老朽化により調理で必要な冷却が十分できない状態にあるため更新し、排水管も入れ替える。
〔柵原学校給食共同調理場運営費　512万円〕

条例

【美咲町職員の給与条例の改正】
美咲町職員の給与に関する条例等の一部改正

令和2年度人事院勧告に基づき関係条例の整備を行う。

【延滞金等の割合の見直し】
地方税法等及び所得税法等の一部改正に伴う関係条例の整備

利子税などの割合は引き下げるが延滞金などの割合は維持する。

【保育士の特殊勤務手当の廃止】
美咲町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

特殊勤務手当の趣旨を考慮し保育業務従事職員の特殊勤務手当を廃止する。

【国民健康保険税の見直しと未利用土地譲渡の課税特例の創設】
美咲町国民健康保険税条例の一部改正

個人所得課税の見直しを踏まえた国民健康保険税の見直しと未利用土地を譲渡した場合の課税特例を創設する。

意見の分かれた議案

○は賛成　×は反対（議長は裁決に加わりません）		松島議員	金谷議員	山本議員	貝阿彌議員	岩野議員	江原議員	松田議員	林田議員	左居議員	延原議員	形井議員	藤井議員	山田議員
議案第144号	美咲町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
要望第6号	旭地域の小・中学校存続についての要望書	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
請願第1号	国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

【議案に対する討論】

議案第144号	美咲町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	**［条例制定に反対］**　保育士の職務の重要性、特殊勤務手当がついた経緯などからむしろ保育士の待遇改善が必要であり条例改正に反対する。	藤井議員 形井議員
		［条例制定に賛成］　国や県の指摘があり職員組合との同意や長年の検討の結果を踏まえたことから条例改正に賛成する。	延原議員 松田議員

委員会の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。
委員長／山本宏治　副委員長／延原正憲　委員／松田英二、江原耕司、岩野正則、貝阿彌幸善の6人で審査しています。

【総務課】特殊勤務手当の廃止

問 保育業務従事職員の手当廃止は職員組合の了解を得ているか。

答 これまで国、県の指導があり、保育士および職員組合とも協議を重ねてきたもので、同意を得ている。

【理財課】ふるさと納税増額1,800万円

問 ふるさと納税の返礼品に要する経費割合はどの程度か。

答 返礼品は国の基準で3割以内とされており、委託業者手数料などを含め全体で約5割が経費となる。

【地域みらい課】多世代交流拠点整備基本構想

問 中央地域の（仮称）多世代交流拠点整備基本構想へのパブリックコメントとアンケートの実施は。

答 パブリックコメントは12月7日～1月15日、アンケートは約2,000人を対象に実施の予定。

ポンプゲート（藤原地内）

藤原3号ポンプゲートの現地視察を行った。

藤原地区では2基目の整備であり、残る1基の早期整備が望まれる。

【くらし安全課】特殊詐欺被害防止電話補助

問 電話購入補助申請の対象は町内業者だけか。

答 当面は町内業者からの購入を対象としている。当初30件の申請を見込んだが、15件を追加する。

【産業観光課】事業所助成金の減額

問 360万円減額理由は何か。

答 新型コロナ対策として、町内300事業者に一律20万円の支給を計画。申請辞退者18件分の減額である。

【建設課】周佐地区稗田川の整備

問 柵原地域義務教育学校予定地の下流となる稗田川の改修事業の内容は。

答 自然災害防止事業として流路および河川断面を拡張する計画で事業費は2億5,000万円を増額する。

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民税務課、保険年金課、健康推進課、徴収対策室、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。
委員長／左居喜次　副委員長／形井　圓　委員／山田雄二、藤井智江、林田　実、金谷髙子の6人で審査しています。

【健康推進課】子育て世代包括支援センター新設

問 子育て世代包括支援センター「たんぽぽ」とはどういうものか。

答 妊娠時の母子手帳の交付と同時に、妊娠・出産・子育てについて総合的相談を受け、切れ目のない細やかな支援を継続的に行う。

【福祉事務所】老人憩いの家修繕費

問 老人憩いの家修繕費247万6,000円の内訳は。

答 小原老人憩いの家のトイレ改修費など。

【徴収対策室】債権の放棄

問 債権放棄の状況は。

答 住宅使用料、住宅新築資金について、債務者が死亡し、相続人がいないため債権の放棄をやむなく行う。

小原老人憩いの家（小原地内）

町内の修繕される老人憩いの家の現地視察を行った。
小原老人憩いの家では、エアコン、トイレ、和室などの修繕が行われる。

【住民税務課】徴収猶予の申請

問 徴収猶予の申請状況は。

答 コロナ感染症関連の徴収猶予の申請。現在、住民税普通徴収1件、住民税特別徴収1件、固定資産税6件、軽自動車税1件、国保税減免14件。

【教育総務課】柵原学園（仮称）学校建設事業

問 柵原地域義務教育学校建設事業の用地取得状況は。

答 地権者の協力により建設予定地（書副地内）の用地確保が完了した。

【保険年金課】介護保険計画策定

問 第8期の介護保険計画の策定状況は。

答 策定委員会で審議され、まとめられた「介護保険事業計画（案）」について1月中旬を目途にパブリックコメントを実施する。

委員会の活動

柵原地域学校等建設特別委員会からの報告

柵原地域学校等建設特別委員会は、柵原地域に建設する「義務教育学校柵原学園（仮称）」の創設に向けた取り組みに対する審査を担当しています。
委員長／松田英二　副委員長／山田雄二　委員／藤井智江、形井　圓、延原正憲、左居喜次、林田　実、山本宏治、金谷髙子の９人で審査しています。

柵原学園イメージ図

11月25日に第19回特別委員会を開催し、学校建設に伴う建築設計委託に際して岡山県内の9者から提出された提案書を審査した結果、黒川建築設計事務所（岡山市）の案が最優秀に認められた事の報告を受けています。

提案された施設のイメージ図を基にした配置計画などを建設予定地の現地視察も踏まえて確認しています。

建築設計や造成工事に委員会の意見を反映させるため、委員会からの提言書を議長に提出し、議長から町長へ議会からの要望書として提出しています。

議会改革特別委員会からの報告

議会改革特別委員会は、議会の制度がその時々の情勢に適しているかを検証し、議会活性化に向けた議会改革の検討を担当しています。
委員長／岩野正則　副委員長／藤井智江　ほか全議員を委員とする13人で審査しています。

10月１日および11月２日に議会改革特別委員会を開催し、「議会基本条例」の内容について審査を行った。

条例の内容が現在の情勢に適していない部分として、条例第１条の中の文章を「ひと　輝くまち　みさき」に改め、条例第４条の中の文章を「意見交換会の開催を原則年１回開催する」に改めることに決定し、12月定例議会において「議会基本条例の一部改正」を成立させることで意見が一致した。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、町長・教育長などに町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
8	延原　正憲	1．美作岡山道路事業への町の取り組みは 2．耕作放棄地を復活させる対応策は
9	山本　宏治	1．旭地域の拠点整備の方針は 2．大阪府岬町との交流の取り組みは ◇　地元企業（建設・建築）の入札資格の再検討はできないか
10	左居　喜次	1．本庁舎および周辺整備今後の展望は 2．義務教育学校に期待することは
11	山田　雄二	1．柵原のまちづくりをどう進めるのか 2．釜の上古墳を地域資源に活用できないか ◇　本町のまちづくりは

ページ	議員名	質問内容
12	貝阿彌幸善	1．地域資源を活かした取り組みは 2．未来につなぐまちづくりの施策は
13	藤井　智江	1．町行政は条例に則っているか 2．コロナ禍での町民の負担軽減を ◇　少人数学級の実現に真摯に向かうべきではないか
14	岩野　正則	1．空き家活用へ前向きな取り組みを 2．「食堂かめっち。」の周辺整備を
15	金谷　髙子	1．地域防災への取り組みは 2．子育て支援センターに相談室の確保を ◇　子宮頸がんワクチンへの対応は
16	松田　英二	1．柵原学園建設の排水計画は万全か

議会だよりには、2問まで掲載しています。
掲載できなかった質問は◇で表示しています。

質問 美作岡山道路事業への町の取り組みは

答弁 岡山県と連携して早期完成に努力する

延原正憲（のぶはらまさのり）議員

問 美作岡山道路事業は令和2年6月の地元説明会を経て、10月からはボーリング調査も開始されており、着実に進んでいる。

①町の基本姿勢を再確認したい。

②用地提供者などへの意向確認体制と専門員の配置は。

③道路周辺のインフラ整備の計画は。

④滝谷池改修事業は。

⑤内水対策は。

答 青野町長

①平成27年3月に飯岡・王子・高下地区住民に書面で周知したとおり、県提示のルートで早期完成に協力するとの基本姿勢は変わっていない。

②地権者へ具体的な話がされるようになれば、柵原総合支所に専門員を配置したい。

③現段階では具体化した計画はない。

④地元の了解を得て、10月22日に岡山県に対し防災対応できる事業の提案を要望した。

⑤従来の排水ポンプに加え、山際に大型水路を設置して内水を減少させる対策を提案しており、現在、地元の意向を確認中である。

建設準備着々と

質問 耕作放棄地を復活させる対応策は

答弁 取組事例など情報収集し提供したい

問 営農継続に種々の補助制度が導入されているが、鳥獣被害、後継者不在などで耕作放棄地が増加している。

①町内の耕作放棄農地の現状は。

②耕作放棄の要因は。

③耕作放棄地の有効活用策への町の支援は。

④今後の圃場整備推進の取り組みは。

答 立石産業観光課長

①農業委員会の農地利用状況調査の直近3年のデータは下記のとおりで毎年増加している。

②耕作者の高齢化、後継者不在、担い手不足、耕作不便などで離農する理由はさまざまである。

③農地利用の将来的な設計図を普段から描いておくことが大切であり、各種の支援策を情報提供したい。

答 青野町長

③新規就農者や規模拡大を目指す農家などには既存制度の利用や取組事例などの情報を収集し提供したい。

④現在、担当課では人・農地プランの実質化を進めており、集落内での未来予想図の作成の際に、生産基盤整備の方法として圃場整備についても働き掛けたい。

美咲町内の耕作放棄地の現状一覧表

年　度	農地全面積	うち耕作放棄地	割　合
29年	3,051 ha	346 ha	11.30%
30年	3,040 ha	397 ha	13.00%
元年	3,036 ha	453 ha	14.90%

議員は暑中見舞い・年賀状などの挨拶状を出すことが禁止されています。

質問 旭地域の拠点整備の方針は

答弁 学校を核としたまちづくりを進める

山本宏治（やまもとこうじ）議員

9年間の学び舎として

問 旭地域の義務教育学校の要望を踏まえ、「あさひ生き活き拠点整備事業」の見直しも必要と考えるが今後の方針は。

答 青野町長 地域が安心して暮らせる小さな拠点づくりを進めている。

旭地域では、座談会など行い、拠点整備について話し合いを重ねてきた。

今後も少子高齢化は進んでいくが、現行の小・中学校の存続が地域の要であり、学校を核としたまちづくりを進める。

答 黒瀬教育長 旭地域の小・中学校は存続するのかという声があった。

保護者や地域住民との意見交換会を各地区で開催し、意見を聞いた。

また、旭地域全戸にアンケート調査を行った結果、旭地域内への小・中学校存続の希望が87％。他地域の小・中学校との統合希望が13％だった。

保・小・中の保護者会などから、地域内への存続についての要望書が提出されている。慎重に検討し、決断をしたい。

質問 大阪府岬町との交流の取り組みは

答弁 あらゆる分野で交流を行いたい

問 11月3日に大阪府岬町と協定書が交わされた。

今回の企画は若手職員のアイデアと聞く。さらなるアイデア創出に期待をする。

今後、両町の交流はどのような取り組みをするのか。

答 光嶋地域みらい課長 岬町は海に面した研修施設や海水浴場など「海の町」であり海産物が豊富である。

本町は「山の町」である。それぞれの特色を生かし、あらゆる分野で交流を行いたい。

地域課題解決に向けて両町の職員間の交流も図りたい。

答 立石産業観光課長 岬町の「道の駅」関係者と協議を行い、物産センターとの交流イベントを行いたい。

「たまごかけごはん」と「しらす干し」の新メニューを考えたい。

答 神坂教育総務課長 1月24日から始まる全国学校給食週間で、本町の卵と岬町のしらす干しを使用した学校給食を提供したい。

答 平賀生涯学習課長 児童生徒に海の体験学習、農村型体験学習など、さまざまな交流を検討していく。

特産品の交流も活発に

議員が選挙区内にある者に対して、寄付をすることはいかなる名義でも禁止されています。

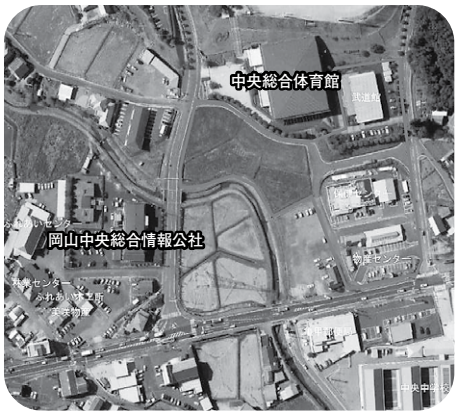
質問 本庁舎および周辺整備今後の展望は

答弁 中央運動公園付近を候補地とし計画

左居喜次（さこよしつぐ）議員

問 町長が掲げて、取り組んできた施政方針について、今後の展望を示せ。
①小規模多機能自治の取り組みは。
②本庁舎および周辺整備の計画は。

答 青野町長
①防災など、自治会の枠を超えて、話し合いをしたいという地区も出てきている。
自分たちの地域の事は、地域のみんなで考え、決定し、実行するという「小規模多機能自治」の体制づくりが、少しずつだが進んできていると感じる。
今後も地域が主体となって取り組めるよう、組織づくりを積極的にサポートしていく。
②美咲町みらいデザイン検討委員会において、拠点整備に向けての基本的な考えを、さまざまな視点で検討を進めてきた。
世代や分野を超え、こどもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、みんなが交流し、賑わいが生まれ、地域の活性化が促進される新たな拠点を創ることが求められている。
中央運動公園付近を候補地とし、3月を目途に具体的な計画をまとめたい。



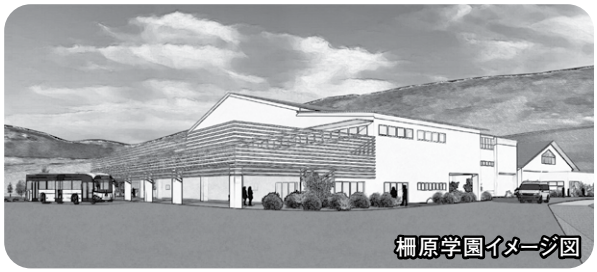
交流や賑わいが生まれる新たな拠点

質問 義務教育学校に期待することは

答弁 より良い未来を創造する子どもの育成

問 義務教育学校の検討は、人口減少・少子化が大きな要因であり、現在の児童生徒数の推移を見ると、近い将来には複式学級の検討も余儀なくされる状況にある。
先進地では特色ある教育により、義務教育学校の開校後、校区外通学者が校区内通学者を上回るなどの効果が表れ、地域活性化へ貢献しているところもある。
本町では、何を目的として義務教育学校創設を目指し、何を期待しているのか。

答 黒瀬教育長
目的は、端的に言うと5点である。
①故郷を愛し、心豊かにたくましく、主体的に学ぶ児童生徒の育成。
②9年間を途切れることなく、一貫性のある教育方針に基づき、教育活動を展開する。
③少子化に対応する。
④義務教育学校が地域創生の拠点となる。
⑤美咲町の資源を最大限生かす。
期待することは、自分の夢や目標に向かい、自他を尊重し、地域を愛し、よりよい未来を創造する子どもの育成である。



地域に根付き、信頼される学校へ

質問 柵原のまちづくりをどう進めるのか

答弁 柵原学園を地域づくりの核として位置づける

山田雄二（やまだゆうじ）議員

問 柵原地域のまちづくりをどう進めるのか。

柵原学園（仮称）が地域づくりの拠点になるのではないか。

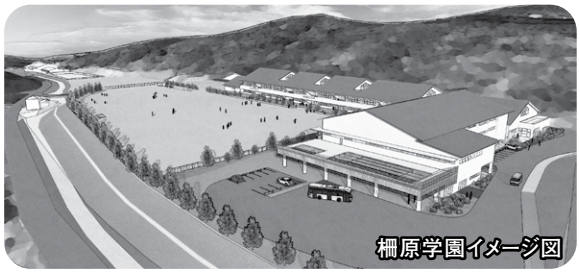
答 **黒瀬教育長**

柵原学園も地域の一つの拠点として、教育の場、地域の人の触れ合う場、生涯学習の場となるよう大いに期待しているところである。

問 大いに期待しているというような他人事ではなく、人が呼ぶなら飛んで行こうと、自分のこととして答弁願いたい。

答 **黒瀬教育長**

期待しているというところは、何度も何度も読み返し何度も書き直した。生涯学習は住民ひとり一人が主人公という意味で、皆さんに期待しているという表現になっていることをお許しいただきたい。



待たれる令和6年4月の開校

答 **青野町長**

柵原学園を地域づくりの核として位置づけ、学校・家庭・地域が連携して地域力を高めていく取り組みを学校の開校に向けて進めていきたい。

学校と地域が膝を突き合わせて互いに意見を出し合い、学び合う中で地域も成熟化し、学校と地域の双方向の関係づくりが期待される。

質問 釜の上古墳を地域資源に活用できないか

答弁 美咲DMOを中心に検討したい

問 飯岡地区にある釜の上古墳は、地域おこしの資源として活用できると考える。

釜の上古墳は、月の輪古墳とほぼ同時期に造られた円墳で、規模もほとんど同じである。

三笠宮様は、昭和28年の月の輪古墳発掘に参加され、平成15年の月の輪古墳発掘50周年に際して「日本の発掘隊が20年近く中東のトルコ共和国で発掘調査をしているが、月の輪古墳の発掘方法がお手本になっている」と祝辞を寄せられた。

当時の柵原町長は「平成の教育活動・文化活動として、釜の上古墳の発掘ができないものか」と提案している。

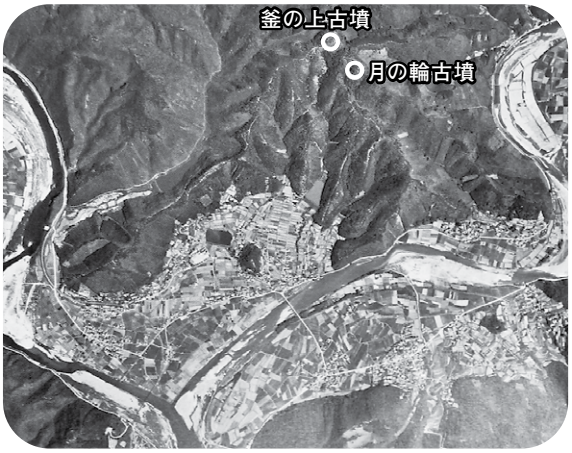
釜の上古墳の発掘に向けた取り組みは、幅広い支持や賛同を得られると考えるが、見解を示せ。

答 **平賀生涯学習課長**

発掘するというのは難しいので、地域資源の活用について今後勉強していきたい。

答 **宇佐見政策推進監**

古墳を町の重要な資源として活用すべくDMOなどを中心にしながら検討したい。



空から見た釜の上古墳

議員は病気見舞金を出すことが禁止されています。

質問 地域資源を活かした取り組みは

答弁 DMOで町の魅力を再定義する

貝阿彌幸善（かいあみゆきよし）議員

問 新町建設計画の基本目標にある「住民が主役のまちづくり」は全ての政策・施策の基本になる。

地域の資源や個性の分析・分類はできているのか。

答 **宇佐見政策推進監**

地域経済に好循環をつくり、他地域にない有形無形の資源を把握し、魅力あるものとして活用していくスタンスが不可欠であるが、残念ながらまだまだ不十分である。

豊富にあるさまざまな資源を把握し、観光だけでなく経済を回す資源とし、令和3年度発足を目指す美咲DMOにより、町にある魅力を見つけ再定義する役割を期待している。

問 今ある資源と新たに発掘した資源を活かした今後の取り組みは。

答 **宇佐見政策推進監**

個々の素材を資源にし、点ではなく線で結び、面にしていくストーリー作りをDMOで進める。

答 **青野町長**

奉仕の精神にあふれた人の力が一番の資源である。その力で地域再生を目指し、将来負担を残さない公共施設の再編整備、中心部にふさわしい拠点づくりを進める。

美咲町の魅力を発信

質問 未来につなぐまちづくりの施策は

答弁 地域内経済の好循環を目指す

問 未来につなぐ持続可能なまちづくりを行うため、基本目標と主要施策の全てが大切である。

特に重要と考える施策は何か。

答 **宇佐見政策推進監**

人口減少で経済が縮小する圧力からいかに脱出するか。

町にしかない地域資源を活用し、施設を賢く収縮することが、持続可能なまちづくりの重要なポイントと考える。

問 財源を確保するためには町が稼ぎ収入を増やさなければならない。

ふるさと納税やDMO、町が企業的な活動するなど収入を増やすべきである。

地方自治体が生き残るには発想の転換は必要ではないか。

答 **宇佐見政策推進監**

地域内経済を好循環で回すだけでなく、お金をいかに効果的に、効率的に使っていくのか。今後考えていかなければいけない大きな課題である。

答 **青野町長**

従来型の発想にとらわれず様々な可能性を探り、稼ぐ力に向け美咲DMOの準備を進めている。

地域で作って地域で消費

議員はお中元やお歳暮を出すことが禁止されています。

質問 町行政は条例に則っているか

答弁 法規範を遵守している

藤井智江（ふじいともえ）議員

町民のためになる役場へ

問 ①町行政は、種々の条例に則って執行されているか。
②美咲町情報公開条例に基づいて請求がされた時、どのような手続きで開示されるのか。
③審査請求が出された時どう対応するのか。
④審査委員会委員の構成は。
⑤審査委員会の開催要件は。

答 青野町長
①行政の最も基本となる原則の一つが、法律による行政の原理である。業務を行う際は、法規範を遵守し、執行している。

稲谷総務課長
②開示請求が提出されると、総務課および担当課で審査し、請求があった日から30日以内に開示するかを決定する。
③⑤審査請求があった場合は、美咲町情報公開条例第20条第1号、第2号に該当する場合を除き、美咲町情報公開・個人情報保護審議会に諮問する。
④審査委員は5人以内で、優れた識見を有する人。

質問 コロナ禍での町民の負担軽減を

答弁 状況に応じて対応したい

問 ①働く人の感染症対応休業支援金、給付金などは周知されているか。
②町の事業継続支援助成金は十分周知され、目的が達成できているのか。
③PCR検査の体制づくりが大切ではないか。
④医療機関、介護施設などへの直接支援が必要ではないか。

答 立石産業観光課長
①②コロナ感染症関連の国をはじめとした関係機関の支援策は、本町ホームページからリンクする岡山県、経済産業省のホームページに掲載されている。
産業観光課に関わりのある手続きは、商工会の取り扱う持続化補助金の証明事務やセーフティネット、機器関連保証などの融資制度にかかる証明事務がある。
事業継続支援助成金を、法人・個人事業主に対し申請書を送付するなど周知に努めている。

清水健康推進課長
③体制づくりは大切であり、願いでもある。
県と医師会が連携、協力し発熱患者の検査体制はほぼ整っている。
④以前、給付金・マスクを支給。医療機関を訪問し実情を聞き状況に応じた支援を考えたい。

医療従事者への支援と感謝を

議員はお祭りへの寄付や差し入れが禁止されています。

質問 空き家活用へ前向きな取り組みを

答弁 地域と一緒に意見交換をしていく

岩野正則（いわのまさのり）議員

問 本町の資源の一つに、町史編纂室で収集した資料や町史に関する書籍などがある。

地域資源である歴史的、文化的価値のある書籍などを、空き家を活用して図書館をつくり、展示できないか。

答 平賀生涯学習課長 貴重な資料の保管のためには管理人が必要となる。

例えば、歴史的、文化的価値のある書籍については、司書が常駐している図書館に郷土資料コーナーを設置し、町民が活用できるよう検討していきたい。

問 人口減対策として、町なかの空き家の活用、民間活用の研究をし、前向きな取り組みができないか。

答 青野町長 町内に空き家が約1，000軒ある。図書館に限定しないで、地域にあった活用方法を検討していきたいと考えている。

吉ケ原地区では空き家を活用し、憩いの場として開放している事例もある。

行政が一方的に空き家の活用を進めるのではなく、地域と一緒に活用について意見交換をしていく。

町なかに賑わいを

質問 「食堂かめっち。」の周辺整備を

答弁 指定管理者と協議して進めて行く

問 「食堂かめっち。」駐車場の周辺整備が必要ではないか。

答 立石産業観光課長 リニューアルして以降、土日の来場者は多く、混雑した状況である。

コロナ感染防止対策を行い対応しているが、店舗内の混雑やコロナ感染防止策、駐車場が少ないことについての苦情はない。

問 お客さんに不便をかけないように前向きな取り組みはできないか。

答 立石産業観光課長 現在のところ駐車場を広げる予定はない。

今まで以上に皆様に愛される店舗づくりを進めて行く。

接客についての環境整備などについては、指定管理者と協議しながら進めていきたい。

答 平賀生涯学習課長 スポーツ大会などは美咲物産と連絡を取り合い混乱がないよう調整している。

「いらっしゃいませ～」

質問 地域防災への取り組みは

答弁 外部団体が参加する防災訓練を企画

金谷髙子（かなだにたかこ）議員

防災は日頃の訓練が大事

問 近年の地球温暖化で、雨の降り方が変わってきている。

雨だけでなく地震についても活動期に入っていると言われており、南海トラフ巨大地震の発生確率は、今後30年以内に70％から80％と言われている。

このような状況の中、地域防災にどう取り組むのか。

①自主防災の活動の現状は。

②塚角地区では、県のモデル事業で避難支援個別計画を作成している。

町としての取り組みは。

③町の補助で防災士の資格を取得した人数は。

答 浦上くらし安全課長 ①30年7月豪雨を経験し、防災活動が活発になってきている。

②個別計画策定の取り組みが遅れている地域がある。

県や各種団体での防災学習などを活用し取り組みを広げていく。

③中央地域3人、旭地域5人、柵原地域13人。

答 井上政策推進監 役場だけでは限界がある。

外部の団体が参加する大規模な防災訓練企画を考えていきたい。

質問 子育て支援センターに相談室の確保を

答弁 相談しやすい環境を早急に整備する

問 子育て世代包括支援センターで、一番重要なのは妊娠期から切れ目なく出産後も母と子、家庭の相談などである。

また、児童虐待の問題もあり、新型コロナウイルスの影響で相談が増えているのではないか。

①子育て相談などについて本町の現状はどうか。

②プライバシーが守られ、相談者が安心して相談ができる相談室の確保はできないか。

答 清水健康推進課長 ①・産後は、コロナウイルスへの感染が心配で病院に行く時期を考えてしまう。

・保健師の赤ちゃん訪問も延期された。

・保育園の家庭保育の時期には、母親のストレスがたまった。

といった内容の相談があった。

答 青野町長 ②本庁舎内には会議室の数も、スペースもない状況。この制度を運用していくには、相談室は大変重要なことから、庁舎管理担当部署と調整していた。

開設には間に合わなかったが、センターを開設した健康推進課のすぐ近くのスペースを活用し、相談しやすい環境を早急に整備する。

後援会が花環・香典・祝儀などを出すと処罰されます。

質問 柵原学園建設の排水計画は万全か

答弁 流域内の流入量を調査し対策を図る

松田英二（まつだえいじ）議員

問 義務教育学校（仮称）柵原学園建設計画が佳境を迎えており、順調に進めば来年度から敷地造成工事が始まることになる。大規模な開発行為を行う場合に最も留意しなければならないのが排水計画である。

想定される被害防止に向けた対策は万全か。

答 神坂教育総務課長 排水対策としては、流域内の雨水流入量を調査して既存の農業用水路などを拡張する。

また敷地内に調整池を設けて下流域となる周佐地区への流入水量を調整するとともに児童・生徒への安全対策を考慮した高さのフェンスを設置する。

答 前田建設課長 学校建設予定地から流れ出た水は下流域となる稗田川を通って吉井川に排水される。

想定される流入量を排水できる河川断面の確保に向けて今年度より河川改修工事を実施する。

想定される内水対策についても対策工法の検討を進めている。

答 青野町長 通学する児童・生徒や隣接する地域の安全確保は、町として当然のことと考えている。

静かに時を待つ学校建設予定地

表紙の紹介

兄妹仲よく寝ている姿を
そっと撮らせてもらいました。

新年互礼会の開催

1月14日、美咲町新年互礼会が開催されました。町執行部と議員全員が出席するなか、地域自治振興と地域福祉に功績があった5人の表彰が行われました。

令和3年3月定例会の予定

令和3年3月に予定されている美咲町議会定例会は
◆3月1日（月）開会～3月19日（金）閉会の19日間
◆一般質問は3月2日（火）～3月3日（水）の2日間
◆予算特別委員会は3月10日（水）～3月15日（月）の4日間
（なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます）

議員に対し、寄付を出すように勧誘や要求することは禁止されています。

大阪府岬町と岡山県美咲町の友好交流都市協定・災害時相互応援協定が結ばれ調印式が執り行われました。

11月3日(火)文化の日に、久米郡商工会会議室において、大阪府岬町との「友好交流都市協定」・「災害時相互応援協定」の調印式が行われました。

大阪府岬町は、昭和30年に多奈川町・深日町・孝子村・淡輪村が合併してできた町です。岬に沈む夕日は格別に美しく「日本の夕日百選」に選ばれており、岬の海は豊かな漁場として、沿岸漁業や養殖に取り組まれています。

調印式には、大阪府岬町から、田代堯町長、 奥野学議長ほか関係者多数が出席され、本町からは、青野町長、松島議長のほか多くの議員・職員が出席しました。

4年間の軌跡

2017（H29）年

議会だより創刊50号の**記念特大号**を発刊

中学生議員が2回目となる子ども議会を開催

貝阿彌議長・松島副議長体制でスタート

全国第9位優良賞

第34回町村議会広報全国コンクールで第9位優良賞を受賞

議会だより56号全国コンクールで優良賞を受賞

2020（R2）年

津山圏域議長協議会合同研修会を開催

第8回議会報告会・意見交換会を開催

松島議長・金谷副議長新体制でスタート

美咲町
議会だより
48号~62号

美咲町議会

2018(H30)年

議会大激論
予算案を否決

柵原地域学校等建設特別委員会が活動開始

中学生議員が3回目の子ども議会を開催

2019(H31.R1)年

青野町長就任
所信を表明

「平成30年7月豪雨災害」対応で予算大幅増額

美咲町第三次振興計画を決定

新型コロナ感染症 対策関連予算を可決

議会への町民アンケートを実施

町民の皆さんこんにちは

サークル紹介 第36回

美咲の冬を明るくするぞ！

原田会

●いつ頃から活動していますか●

イルミネーションについては平成28年から実施しています。

●どんな活動をしていますか●

各地区への花プランター配布・ふれあい祭り・防災訓練・イルミネーション点灯など行っています。

●メンバー構成は●

原田第1自治会と原田2区自治会の常会長を中心に約40人で活動しています。

●活動を始めたきっかけは●

イルミネーションを復活しようと声が上がり各家庭で以前使用していた器具を寄付してもらい、始めました。

●楽しいことは何ですか●

活動を通じて皆とコミュニケーションが図られ元気がもらえます。

一つのイベントを成功させる事により皆で喜びを共有できることです。

●これからの活動は●

規模は小さくても年末年始に美咲町へ行けば「原田イルミネーション」がきれいに点灯していると言ってもらえるように子どもたちに夢を提供していきたいです。

●議会に一言お願いします●

にぎわいの創出事業へ、継続的な支援をお願いします。

明るく元気でにぎやかに

みなさんの活動で美咲の未来が育ちます。

編集後記

本年はコロナ禍の中で新年を迎えました。

「新しい生活様式」の徹底を図り、一日も早い終息に向けて皆で知恵を絞りましょう。

美咲町では、第三次振興計画が策定され、それを基本として、さまざまな計画が進んでいます。

「主権者は町民」です。町民の参画があってこそ「私たちの美咲町」として地域は活性化されるのではないでしょうか。

私たち議員は行政をチェックする大きな役割を担っています。私たちの活動が、皆さまの期待に応えられるよう、さらに議会の活性化に努めます。

皆さまから忌憚のないご意見をお寄せください。

（藤井記）

議会広報編集特別委員会
委員長　松田　英二
副委員長　藤井　智江
山田　雄二
延原　正憲
左居　喜次
岩野　正則

〒709-3717　岡山県久米郡美咲町原田1735　『美咲町議会だより63号』の印刷部数は6400部、経費は1部48円　発行：岡山県久米郡美咲町議会　編集：議会広報編集特別委員会　TEL(0868)66-1128　FAX(0868)66-2038